

令和5年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：西川町地域資源活用イノベーション推進

活動地域：山形県西川町

活動におけるテーマ

『西川町の地域資源活用にイノベーションを  
起こす！！』

本事業への関わり：1年目

# 活動団体と地域の紹介

## 1. 活動団体：西川町地域資源活用イノベーション推進協議会

◎構成メンバー：西川町、西川町総合開発㈱（地域商社）、町内行政区など

◎目的：

- ① 厳しい自然環境や、大自然の恵み、豊富な森林資源・観光資源を活かす
- ② 人やその人の想いをつなぎ、地域課題を解決する
- ③ 継続的に地域資源を活用したイノベーションを創出し、持続可能な地域をつくる



## 2. 地域の現状

山形県西川町

- 山形県の中央にあり、出羽三山の一角をなす月山（標高1984m）の麓の約5,000人の町。
- 4月にスキー場がオープンし、自然を活かしたカヌー・登山・苔・サウナが楽しめる
- 自然に生育する山菜、筍などで、江戸時代から参拝客を楽しませている。



# 活動計画（概要）

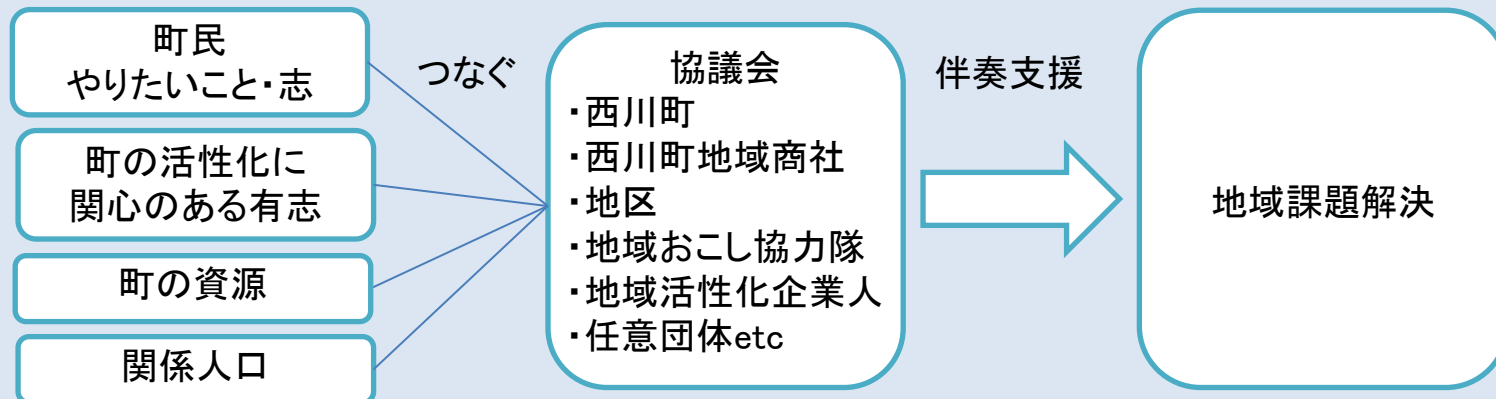
## 地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- ・イノベーションを起こす土壌がない
- ・町民のやりたいことの可視化
- ・伴奏支援体制の構築
  
- ・地域森林の荒廃
- ・豪雪地域での通年農業
- ・観光客の減少
- ・雪の活用

## 地域の課題が解決された状態

- ・地域資源を活かし、地域課題解決につながるイノベーションを起こしたい人と人、人の想いをつなぎ、町民が主体性を持って、関係者との信頼関係を築いている。
- ・町民がやりたいことや志を実現するために、町や地域商社が伴走し、人や企業をつなぎ、地域課題の解決することができる。
- ・地域循環共生圏を契機に、共助のコミュニティが生まれ、地域課題解決型や地域資源活用の事業が次々と生まれる町となる。

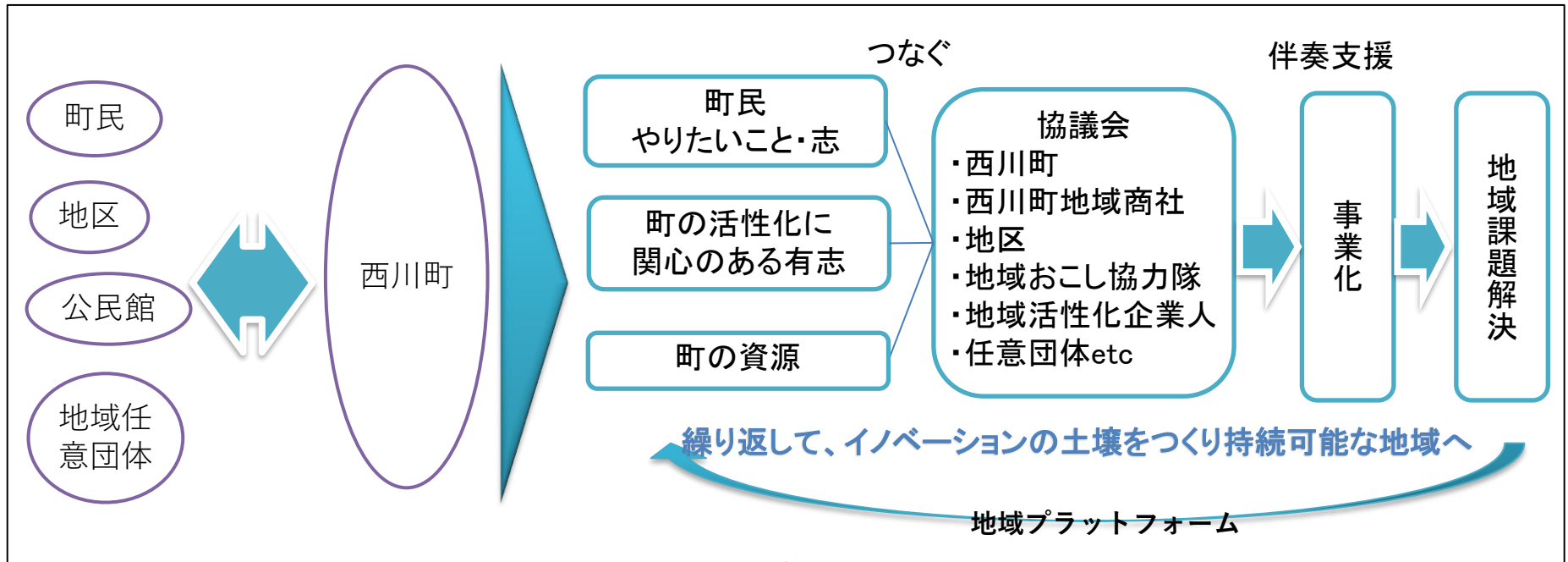
## 環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）



# 目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

## 現時点での体制

## 目指す体制



足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・イノベーションを起こそうとする土壌が出来ていない。
- ・町民の想いが見える化
- ・人口減少、高齢化により担い手がいない。

# 年間スケジュール

